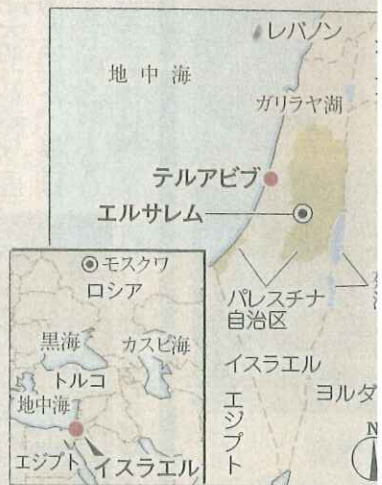


被災地の息



6日にエルサレムで開かれた国際芸術工芸祭でも、生徒たちはひとときわ注目を集めた。会場では日本との国交60年を記念し、仙台市の経済人らが贈った七夕飾りが色鮮やかに飾られていた。

13人は浴衣姿で童謡「ふるさと」を披露。イ



スラエルによる医療支援への感謝を含めた歌声は、日本の新聞やテレビを含めて殺到した取材陣を通じて広く発信された。

への憧れが強いこともあられ。約1時間の交流は「韓流好き」で意気投合するほど盛り上がった。紺野さんは、帰国後の目標を一つ見つけた。「この国語学校講師三浦恵さんについてもっと知りたドラマも人気。未翻訳作品をインターネットで見

東日本大震災の津波で被災し、高台移転を計画している石巻市北上町小室地区の住民が、専門家の支援を受けて検討してきた移転地の宅地、道路などの造成デザイン案がほぼまとまった。同地区の集団移転事業は3月、被災地で最も早く国の同意を得て、実施設計の準備に入っている。住民側はデザイン案ができるだけ設計に反映されるよう求めていく方針だ。

「海望む広場欲しい」

同市北上町の仮設住宅集会所で19日夜、住民約15人が参加してワークショップが開かれ、支援に当たってきた日本建築家協会宮城地域会のメンバーが、これまでの話し合いを踏まえ製作した模型を提示した。住民に大きな異論はなく、一部を修正した上で実現を目指す方向となった。

石巻・小室地区 集団移転

小室地区では20世帯が近隣の民有地に移る計画。デザイン案は「玄関は辰巳の方向(東南)に設けるのが地域では一般的」との住民

の声を受けて道路配置を見た。あとではできるだけ早く直すなど、話し合いを踏まえまとめられた。案は「漁業者が多く、海話」。

高台移転にいち早く合意した小室地区ではことし2〜4月、3回のワークショップで具体的な造成案を検討。住民側は、実施設計を市から受注した業者側にも説明しながらデザイン案を固めた。市によると、デザイン案も参考に実施設計を年内に終え、年度内にも造成に着手する見通し。

住民主導でデザイン案

が見える場所が必要」として眺望が得られる広場を設け、集会所は地域の拠点となるよう中心部に配置する。小室地区行政区長の千葉磐夫さん(70)は「住民の意向を十分にくんでもらう」

専門家交え全容固める

東松島沖 クロタイ 860 検出 農林水産物検査 県は24日、県内の農水



放射性 県は24 した20 射性物質 した。仙 した小麦 し、1検 シウム(当たり1 8検出 県は、上 ないと判 麦の販売 年産麦の 作付けす 8市町で 12市町で 県内の 3カ所 県企業 の工業用 行った放 結果、放 射性セシ 不検出(3〜0.1 たと発表 大槻浄 城野区) 市)、釧 町)の各 22、23 通り。